

流域単位の里山保全と体制づくり

活動地域



耕作放棄地の活用 見守り隊基地に小屋作り

課題

当地区は平成30年西日本豪雨で被災。被害拡大の要因に耕作放棄地が挙げられる。遅々として進まない復興活動に住民から不安の声があがり里山保全への意識が高まっている。

目標

支流域単位で里山見守り隊を結成し住民による里山保全を行う。耕作放棄地削減の取組み、環境保全、生物多様性の啓発を行い持続可能な里山モデルを構築する。

ひろげる助成

2年目

実践

活動内容と成果

- 里山見守り隊の活動は当初の計画を大きく上回り年4回の活動が毎月の活動となった。それにより新たなコミュニティーが生まれている
- 耕作放棄地の利用も順調で里山見守り隊基地周辺の子どもの遊び場、こども果樹園は地域の保育園、幼稚園の自然体験に利用されている
- 耕作放棄地を利用した麦の栽培も定着しつつある。中間コンサルテーションのアドバイスを受け、西予市ふるさと納税返礼品に登録を申請。地元特産品として指定を受け販売されるようになり、6次産業化の足がかりができた



モデル農園 幼稚園児の麦踏み体験

里山見守り隊参加者 **158人**

耕作放棄地モデル化 **50a**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **80%**

苦勞した点と工夫した点

●苦勞した点

今後の活動の継続を考えると里山見守り隊の活動が自主的な活動になる必要があり、それを引き出すのに苦勞した。

■工夫した点

毎月の活動の後、話し合える場をつくり参加者の意見を活動にいかせるよう工夫した。



今後の
展望

中間コンサルテーションでのもう一つのアドバイスに活動の持続化があり、地域のみならず広く若者を募集し次世代に引き継ぐ下地作りを今後の目標とするため、高校生や大学生の参加を促すような働きかけをしていきたい。

〒797-0010

愛媛県西予市宇和町明間

1766番地

電話：0894-67-0056

E-mail：kokuoumail@gmail.com

HP：http://www.pikara.ne.jp/donguri-oukoku/

